

人権感覚を高める活動（アクティビティ） 「じゃんけんゲーム」

1 活動のねらいや意義

児童生徒の間で、対話したり、活動したりしやすい雰囲気をつくる。

普段何気なくやっていること、当たり前だと思っていることも、見方や考え方を変えると様々なことに気付くことや、それを変えることのたいへんさを体験する。

2 活用場面

学級活動・ホームルームにおいて、仲間づくりの活動として行う。

各教科等において、学習活動として行う話合いや討論等を行う前に、話しやすい雰囲気を作るために行う。

3 準備物

特になし

4 活動の進め方（5分～10分）

学習活動	指導上の留意事項
<p>1 授業者対児童生徒でじゃんけんをし、「負けた人」から座っていく。</p> <p>2 同じように、次は「勝った人」が座る。</p> <p>3 「後だし負けじゃんけん」を行う。児童生徒は後出で、授業者に負けるように出す。うまく負けることができなかった児童生徒は座る。</p> <p>4 隣の人とペアになって、「後だし負けじゃんけん」の三本勝負を行う。</p> <p>5 終わったペアから、どんな感じがしたか、話し合う。</p> <p>6 授業者から、普段何気なくやっていることでも、見方を変えたり、少しやり方を変えると、様々なことに気付くことができること、思いこみがあるとなかなかすぐには変えられないことなどについて、指導する。</p>	<p>1と2は、時間や児童生徒数などに応じて回数を調整する。</p> <p>楽しく活動することを第1に考え、雰囲気づくりに努める。</p> <p>いくつかのペアには、話し合ったことや、感じたことを発表してもらおう。（ふりかえり、わかちあい） 相手の話を聴く態度（傾聴のスキル）について指導する。</p> <p>発表された内容や、体験談などを交え、わかりやすく説明する。</p>

アクティビティとは、個々の学習活動のことです。学習者が意欲をもって取り組むことのできる活動を設定し、効果的な組み合わせを考えます。